

橋下「大阪維新の会」

民・自の古い政治を独裁的に推進

総選挙勝利

12. 4. 3

【部内資料】

近畿ブロックFAXニュース No. 9

TEL06. 6764. 9111 FAX06. 6764. 9115

大阪4区
演説会での 市田書記局長の訴えより

4月2日に行われた大阪4区大演説会(中之島公会堂)での市田忠義書記局長の演説のうち、橋下「大阪維新の会」に触れた部分を紹介します。なお、演説会では、清水ただし比例代表候補(4区重複)、たつみコータロー参院大阪選挙区候補が訴えました(写真右)。



■政治の対決軸は民・自・公対日本共産党

日本共産党の示す方向にしか日本の政治を立て直す道はありません。政治の対決軸は、民主も自民も今やまったく同じですから、どちらかを選べといわれても選びようがない。そうではなく、「二つの異常」をよしとする民主、自民、公明などの従来型の政治を行う勢力か日本共産党か。この二つに一つであります。

■政治が行き詰まると、目先を変える新しい勢力が生まれる

政治が行き詰まってくると、その政治の中身を変えるのではなく、必ずといっていいほど目先を変える新しい勢力が生まれてきます。マスメディアの働きもあって政治の根本の対決軸が隠される、そういうことが繰り返されてきました。ロッキード事件の後の新自由クラブ、リクルート事件、金丸金権腐敗問題のときの日本新党。その後も自民党から分かれたさまざまな政党が離合集散を繰り返しました。「いまワシは何党かねと秘書に聞き」という戯れ歌がはやりました。

次は小選挙区制にもとづく二大政党づくりです。しかし二大政党制は民主、自民が若干でも「違う」ことによって成り立ちます。一緒になってしまったら、二大政党制の破たんなんです。まさにいま、二大政党は行き詰まって破たんに瀕している。そこにマスコミのあおりもあり、「何か変えてくれるのではないか」という期待感を持たせて登場したのが橋下「大阪維新の会」です。

■橋下「維新の会」 民主・自民の政治と全く変わらない

目先を変える点では同じですが、これまでの新党とは少し違います。日本の民主主義にとって大変危険な性格を持っています。「維新八策」などと坂本龍馬の「船中八策」をもじって悦にしているようですが、龍馬も草葉の陰で嘆いていると思います。その中身というと、圧倒的な国民が反対している TPP の推進、憲法 9 条の改悪。この前の橋下さんのツイッターにはあきれました。「がれきの処理がなかなか進まないのは憲法9条があるからだ」。何ということをするのでしょうか。そして、日米同盟を基軸にすえる。すなわち「もっとアメリカいいなれ」ということです。労働市場の流動化・自由化一もっと非正規労働者を使い捨てしやすくする一層の規制緩和をやりましょうというものです。民主党、自民党の政治と何にも変わらない、もっとアメリカ・財界べったりの政治をやろうというのです。

彼らの政策作りのブレインを見てみました。一番中心にいるのは堺屋太一氏です。あの人は何をしていた人ですか。小淵、森内閣の時の経済企画庁長官を務めていた人物です。自民党政治を推進した張本人です。「維新八策」の中身を相談した相手は誰か。小泉構造改革の時の中心メンバーだった竹中平蔵氏。そして財務官僚の高橋洋一氏。「既成政党ノー」どころか古い自民党政治そのもので

はないですか。

■「選挙で勝ったら何でもできる」の独裁手法

しかも重大なのはその政治手法、政治のやり方です。「選挙で勝ったら何をやってもいい」。こういう考えなんです。憲法に反することも平気で次々とやる。その典型が「思想調査」のアンケート問題です。

大阪市の幹部や一部の労働組合には、ただすべきさまざまな問題があります。日本共産党は市役所ぐるみの選挙運動、「解同」と一体になった乱脈で不公正な同和行政などと体を張ってたたかってきた政党であります。こういうことはただす必要がある。しかしだからと言ってそれを口実に「政治家の演説会を聞きに行ったことがありますか」とか「誰に頼まれたのか」などを答えさせる。真実を答えなかつたら処分する。こんなことが許されるのでしょうか。

公務員であっても勤務時間外に誰の演説を聞こうと、橋下さんの演説を聞こうと、野田さんの演説を聞こうと、私の演説を聞こうと自由なのは、別に憲法を持ち出さなくても当たり前の話じゃないですか。それも「誰から頼まれて演説を聞きに行ったのか」という質問があるように、一般の市民まで対象にした調査なんです。こんなことがやられたのは、日本では特高警察が幅をきかせた戦前だけです。

■ヒトラーのやり方と同じ

しかもみなさん、橋下市長がこんなアンケート調査を強行する根拠にしたのは、「維新の会」の市議員が取り上げた大阪交通局労働組合の問題でした。しかしこれはでっち上げ、ねつ造であったことが明らかになりました。私はヒトラーがドイツで独裁体制を引いた時のやり方を思い出しました。自分で国会に放火して、「これはドイツの共産党がやった」と言って徹底的に弾圧し、国会から排除して独裁体制に進んだ。これと全く同じやり方をやっているのが橋下氏です。橋下氏はねつ造が明らかになっても反省するどころか、「僕が濡れ衣をはらしてやった」と開き直りました。まさにヒトラーばりの論法じゃないのでしょうか。

大阪の心ある人々や民主団体に結集する人たち、そして私たち日本共産党は橋下氏の危険な本質を見抜いて先の市長選挙でさまざまな政策では意見が違っても、「民主主義の土俵を壊すことは許さない」の一点で平松さんを推しました。どんなに思想・信条、政策が違っても民主主義という一番大事な土俵を守るためにがんばられた皆さんの決断は、大阪の民主主義を守る正義のたたかいとして歴史に燦然と輝くことは間違いありません（拍手）。

■日本共産党を躍進させることが野望砕く道

日本の国民が、戦前の痛苦の教訓から手にした自由と民主主義をマスメディアにあおられたからといって手放すはずがない、という確信を持って、しかし軽視せず、警戒を怠らずにがんばりぬこうではありませんか。いま多くの国民が閉塞感にさいなまれているなか、そこにつけ込んで策動しているのが「維新の会」です。いま大事なのは平和と民主主義、人権を守って90年間たたかいつけてきた日本共産党。何よりも政治の行き詰まりを打開する展望を示す唯一の党、日本共産党を大きく躍進させていただくことが、彼らの野望を打ち砕く最も確かな道はないでしょうか（拍手）。

4. 13第2回近畿いっせい宣伝を大規模に成功させましょう

次期総選挙での近畿4議席実現をめざす2回目の近畿いっせい宣伝が13日(金)に行われます。消費税増税法案の提出、原発再稼働の動き、橋下「維新の会」の策動と近畿の党がその真価を発揮して奮闘すべき重大局面です。いっせい宣伝はどの駅、ターミナルでも宣伝することで「共産党はがんばっている」という姿を有権者に示す最も効果的な作戦です。今回は344ヵ所と不十分な取り組みでした。今回はその反省を生かし大きな取り組みになるよう奮闘して下さい。そのために▽情勢と意義を貫く▽機関で議論し、支部にしっかり提起する▽成功のための手立てを打ち切り、見届けるようにしましょう。地方議員の皆さんはこの日は必ず宣伝に参加するようにしましょう。